

<p><b>【技術の名称】</b>                  RB (Relocatable Brace) 工法                  -プレストレスの解放によってブレース材を既存骨組に圧着する耐震補強工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第08-07号                  性能証明発効日：2008年7月1日</p> <p><b>【取得者】</b>                  RB 工法協議会                  株式会社竹中工務店、株式会社ダイワ                  ナガイ設計事務所</p>
--	---

**【技術の概要】**

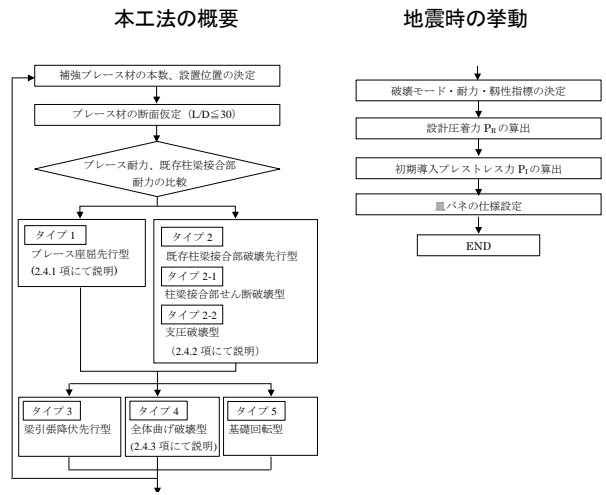
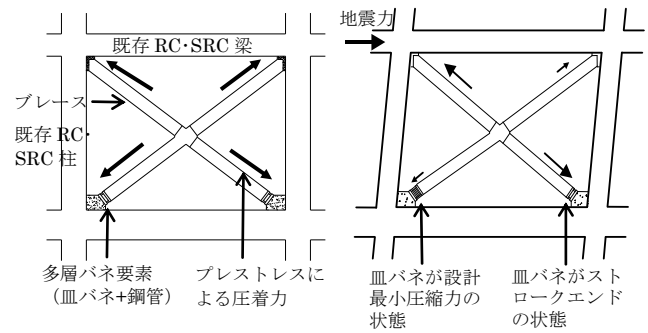
本技術は、プレストレスを導入した多層バネ要素を材端部に配置したプレキャスト鉄筋コンクリート(PCa)ブレースまたはコンクリート充填鋼管(CFT)ブレースを既存骨組構面内に設置し、その後、プレストレスを解放することによって既存骨組と圧着して一体化を図る耐震補強工法である。本工法は、GBRC 性能証明 第03-09号(2003年11月4日)による自己圧着ブレース工法をRB工法協議会が改良した工法である。主な改良点は、(1)ブレース材へのプレストレスの導入方法を、外ケーブル緊張方式およびブレース材端部でのあと圧着方式のいずれかを選択できるようにしたこと、(2)CFTブレースを使用できるようにしたことである。(1)の改良に伴い、自己圧着ブレース工法ではX型ブレースの交点にプレストレス導入のために配置していた円形状のブレースリングと称する部位を省略できるとともに、一旦設置したブレースを容易に取り外した後、取り外されたブレースを別の場所に移設できるとしている。

**【技術開発の趣旨】**

従来の耐震補強工事では、多数本のあと施工アンカーの施工に伴う騒音、振動、塵埃や施工欠陥など種々の問題が発生する場合が多い。本工法は、これらの問題の解消を意図して開発されたものである。

**【性能証明の内容】**

申込者提案工法によるブレース材と既存骨組からなる耐震補強架構は、同工法設計・施工指針に示された終局耐力および変形性能(耐震診断において用いる靱性指標F値)を有すると判断される。



設計フロー



(a) 外ケーブル緊張方式 (b) あと圧着方式

プレストレス力導入方法

**【本技術の問合せ先】**

RB 工法協議会

株式会社竹中工務店 担当者：大野正人  
 〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13  
 株式会社ダイワ 担当者：前田貴史  
 〒511-0284 三重県いなべ市大安町梅戸1316番地  
 ナガイ設計事務所 担当者：長井栄治  
 〒540-0005 大阪市中央区上町1丁目26-5 エクセル上町203号室

E-mail：ohno.masahito@takenaka.co.jp  
 TEL：06-6252-1201 FAX：06-6263-9730  
 E-mail：daiwa-k@m4.cty-net.ne.jp  
 TEL：0594-77-0822 FAX：0594-77-1234  
 E-mail：e-nagai@mte.biglobe.ne.jp  
 TEL・FAX：06-6764-2521